



グリーンリボンは
移植医療のシンボルマーク

(公財)いわて愛の健康づくり財団

NewsLetter

2025・Autumn

GREEN LIGHT-UP PROJECT

10月16日はグリーンリボンデー



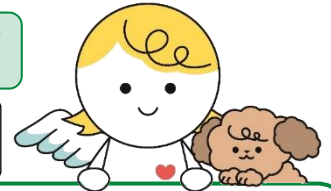
厚生労働省では、毎年10月を「臓器移植普及推進月間」と定めています。

臓器移植医療への理解が広がることを願って、グリーンリボンデーの10月16日を中心に、全国各地の著名なランドマークや建物を移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップされました。

この光には、ドナー（臓器提供者）への感謝に加え、移植を待つ人たち、移植医療を支える医療者等へのエールの意味も込められています。

岩手県内7か所で実施した様子を次のページでご紹介します。

写真：奇跡の一本松(陸前高田市)
撮影：2025.10.18 17:20 ごろ



グリーンリボンキャンペーンの天使
ハーティ&トイプー

～ 県民の皆さんへの大切なお願い ～

臓器提供の意思表示をお願いします

臓器提供の意思表示は、人生の数ある選択の中のひとつです。

YES or NO あなたの意思を表示してください。

臓器提供の意思表示は、マイナンバーカード・運転免許証・インターネットによる意思登録・臓器提供意思表示カードで意思表示をすることができます。



マイナンバーカード



運転免許証



インターネット



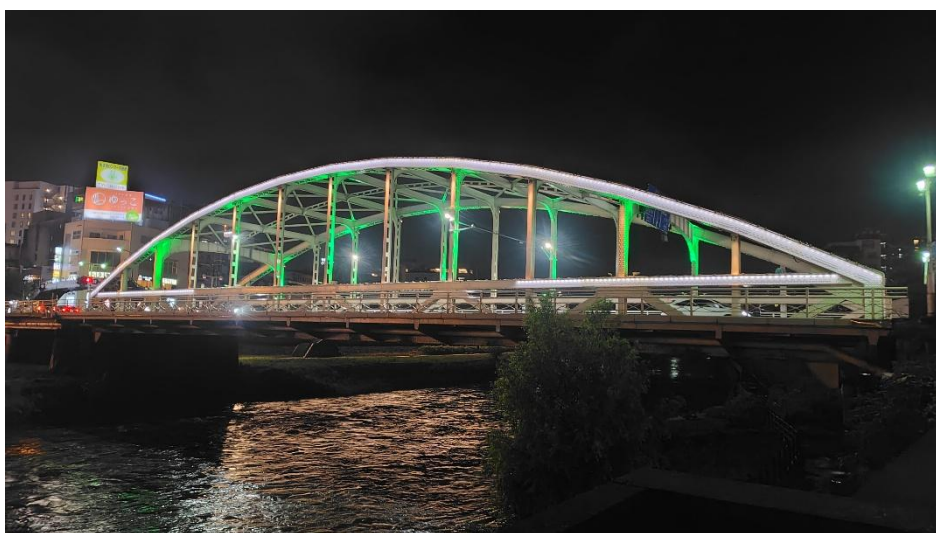
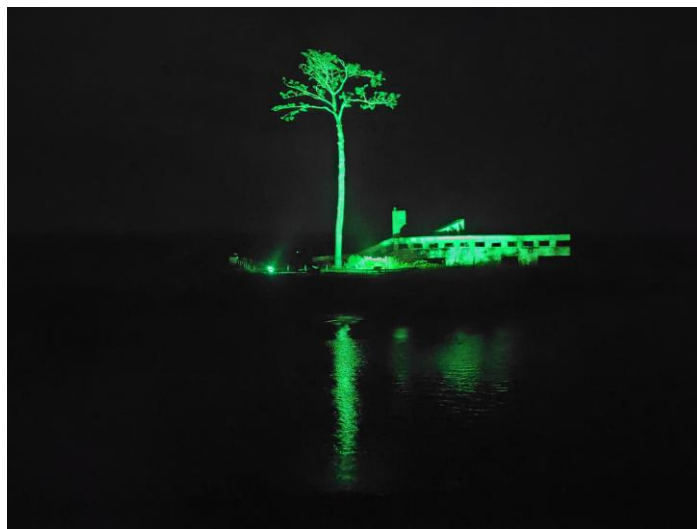
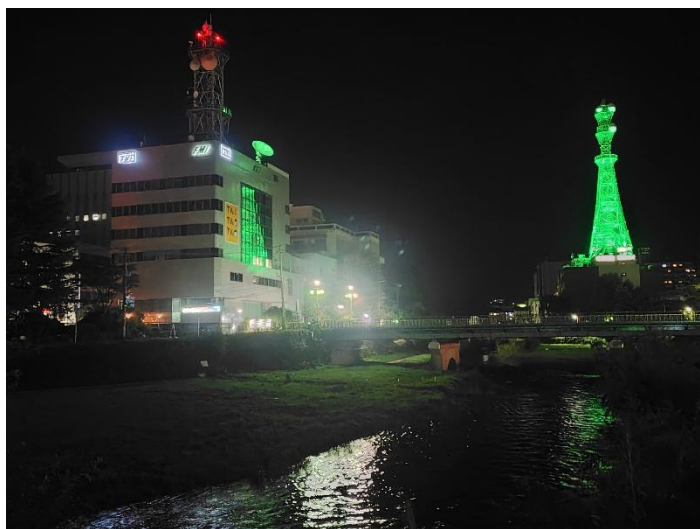
意思表示カード



備考
以下の部分を使用して臓器提供に関する意思を表示することができます(記入は自由です)。記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。
1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植のために臓器を提供します。
2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植のために臓器を提供します。
3. 私は、臓器を提供しません。
(1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。)
(心臓・肺・肝臓・腎(しん)臓・脾(すい)臓・小腸・眼球)
《自筆署名》
〔特記欄 : _____〕 《署名年月日》 年 月 日

2025 GREEN LIGHT-UP PROJECT

～ 移植医療の希望の光を届けよう ～



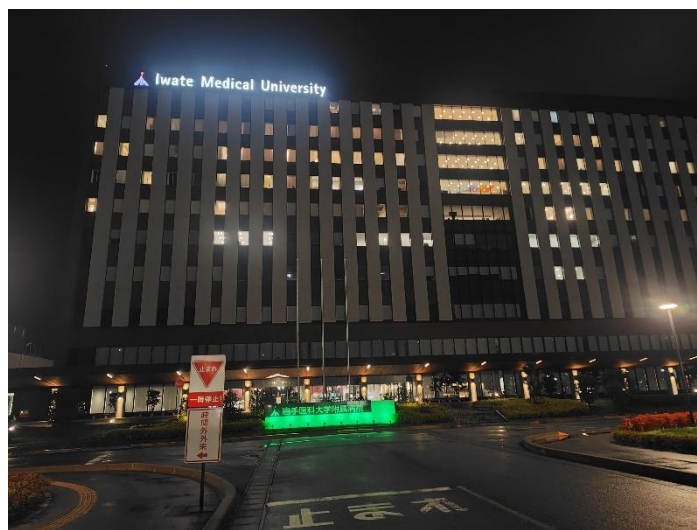
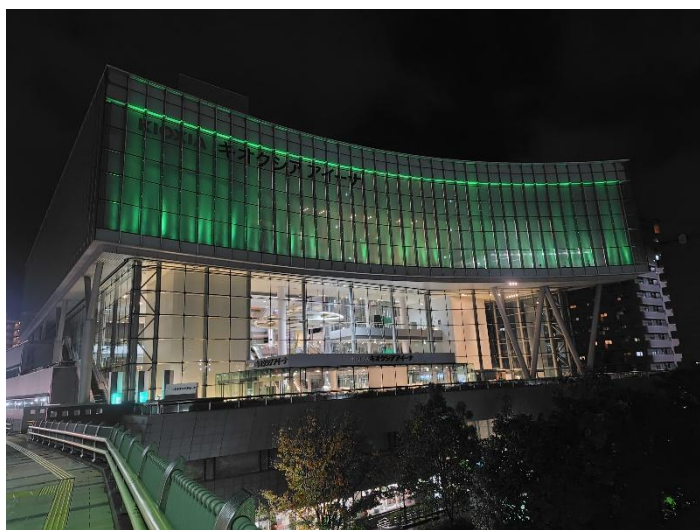
【県内実施期間】

10月16日(木)～22日(水)

【県内実施場所】 ※順不同

- 左上 東北電力無線鉄塔
テレビ岩手パラボラアンテナ
- 右上 奇跡の一本松
- 中央 開運橋
- 左下 キオクシア アイーナ
- 右下 岩手医科大学附属病院
正面玄関

(岩手教育会館でも実施しました。)



- 御協力ありがとうございました -

よぼういがく協会・GOGO!アーリーフェスタで臓器移植普及のPRを実施

10月4日(土)、岩手県予防医学協会創立55周年記念感謝祭・GOGO!アーリーフェスタがよぼういがく協会 BigWaffle (盛岡市) で開催されました。

このイベントでは、検査の裏側ツアーといった、よぼういがく協会の普段の活動紹介のほか、ミニ動物園、はたらく車大集合、サイエンスショー、縁日やキッチンカーのグルメなど家族で楽しめる多彩な内容で、約2,200名の御来場がありました。

当財団では、会場で臓器移植普及のPRを行いました。御家族連れのお客様にも多くお立ち寄りいただき、臓器移植への関心を持っていただく良い機会になりました。

PRに駆け付けた、わんこきょうだい・そばっちも子どもたちに大人気でした。



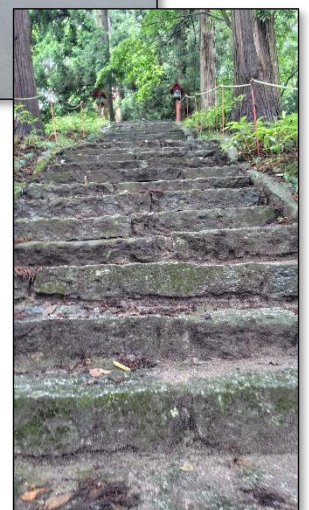
そばっちといっしょに写っているのが、よぼういがく協会のキャラクター「アーリー」。検診車「あおぎり」で県内各地を回っています。

「遠野遺産を巡る親子ウォークラリー」で臓器移植推進キャンペーンを実施

7月5日(土)、県レクリエーション協会が主催する「遠野遺産を巡る親子ウォークラリー」に当財団も共催し、イベント内で臓器移植の普及推進のためのPR活動を行いました。県レクリエーション協会様には、毎年春季に普及啓発のイベントの開催に御協力いただいております。近年は盛岡市内での開催が続いていましたが、今回は平成24年の花巻市以来、13年ぶりに盛岡以外での開催となりました。

ウォークラリーには、遠野小学校の児童とその保護者の方々約40名に御参加いただき、遠野遺産を訪ね歩く約5kmに挑戦しました。

当財団の職員も4人でウォークラリーに参加しました。ウォーキングというよりはトレッキングでは(!?)とを感じるような山道や急な階段のコースを順番を間違えるなど悪戦苦闘を重ねながらもなんとかゴール。日ごろの運動不足と健康の大切さを改めて感じた一日となりました。



<写真の説明>

上：スタートの様子

右：「新里の愛宕神社」の長い階段（コース内には山道もたくさんありました。）

左：「遠野の五百羅漢」は山中にありました。

臓器移植コーディネーターの活動状況 (2025年4月～10月)

当財団には、公益社団法人日本臓器移植ネットワーク（JOT）から任命された臓器移植コーディネーター1名が在籍しています。森田里香コーディネーターの活動状況の一端を御報告します。

- 臓器提供の体制整備のため、病院をはじめ各地区の消防、岩手県警等の関係機関を56回訪問しました。県立中部病院では滞りなく臓器提供ができるよう、法的脳死判定シミュレーションを実施しました。
- 県内14施設62名の院内臓器移植コーディネーターを対象に、県内の臓器提供の現状や国の方針等について、研修会を2回実施しました。（6月12日、10月2日）
- 6月25日には（一社）岩手県臨床衛生検査技師会、9月25日には福島県立医科大学、10月31日には岩手県警察学校で、講師の依頼を受け講演会を実施しました。
- 10月16日のグリーンリボンデーに「臓器移植普及推進月間」PRのため、IBCラジオ「ワイドステーション」とテレビ岩手「5きげんテレビ」に出演しました。

■県内の病院、保健所、運転免許センター（計7か所）のほか、10月の臓器移植普及推進月間には岩手県庁県民室において臓器提供意思表示の啓発のためのバナーを展示しました。

■4月から10月末までの間、岩手県内では2件の脳死下臓器提供があり、9名の方が移植を受ける事ができました。



【写真 岩手県庁県民室での啓発活動】

寄附・賛助会員募集のお知らせ

当財団の事業活動に賛同し、支援して下さる団体または個人を賛助会員として募集しています。また、随時、寄附の受付を行っています。

詳しくは、当財団のホームページで御案内します。皆様の御賛同をお待ちしております。

（参考：寄附と賛助会費の概要）

	寄 附	賛助会費
受入れ時期	随時	毎年1回
受入れ金額	任意（指定なし）	個人：1口 3,000円／年 法人：1口 10,000円／年 （口数は1口以上任意）
使 途	一般寄附金（使途を限定なし）又は 特別寄附金（使途の指定あり）に基づく	公益目的事業ほか、財団の運営全般 （主な内容） ・腎移植希望登録に必要な組織適合検査費用の一部助成 ・臓器移植普及に係る啓発活動ほか

公益財団法人いわて愛の健康づくり財団 NewsLetter 2025・Autumn(R7.11 発行・通巻第2号)

事務局 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号（岩手県庁9階）岩手県保健福祉部健康国保課内

TEL 019-622-6773 / FAX 019-629-5474

E-mail i-noz@iwate-isyoku.or.jp

URL <https://iwate-isyoku.or.jp>

